

# 「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和6年3月26日(火) NO24 文責 <sup>きした</sup>木下 <sup>ふみあき</sup>文秋

## 令和5年度修了の日～感謝

修了の日を迎えました。この一年間保護者の皆様には大変お世話になりました。一年間を振り返って私なりに総括してみます。まず、「人をダメにするコトバ」の排除を目指して生徒にも職員にもたくさん話をしてきました。何となく口にするこの言葉で、多くの生徒が傷ついたり、登校を渋ったりしたと思います。そして、私たち人間は、不思議なことに自分自身も同じ思いをした経験があるのに、ついこのコトバを口にします。しかし、いい意味で少し風向きが変わってきたと感じています。人をダメにするコトバの排除には来年度も継続して取り組んでいきます。次に「人権感覚を高める」ということです。4月から全国の刑務所や拘置所で受刑者に対して「さんづけ」することが決まりました。このことは個人的にとっても大きなニュースでした。法務省の姿勢がそうなのに、それに対して学校の人権はどうなんだろうと考えました。私たちも人権感覚のハードルを上げていかないと、昔の感覚だと失敗をします。相手の人権を尊重することは、子どもの世界だけではなく、大人の世界でも言えることだと思います。次に「交通ルール」です。自転車の乗り方については今年も相当な苦情の電話をいただきました。事故を起こしたら、ドライバーの方が不利になるわけですが、中学生が日常的にそのことを意識しているとは思えません。一旦停止をしない。並進して迷惑だ。などたくさんお叱りを受け、実際に事故現場に行って胸をなでおろしたこともあります。交通安全に関しては、引き続き学校でも指導をしていきますが、命に関することなのでご家庭でも是非お声かけください。最後に「保護者から頂いた声を大事にする」ということです。学校評価をしていただき、たくさんの示唆をもらいました。私たちの力不足もありますし、不注意もあります。しかし、一番大事なことは「家庭と一緒に子どものことを考える」ということです。このスタンスと考え方が守られていれば、家庭と学校がバラバラになることはないと思います。ただし、言い方ひとつで誤解を招くこともありますので、私たちも十分配慮をするように努力はしていきます。重ねて、私利私欲のために働く人間はうちの学校にはいないと思っていますが、万が一気になることがあったら遠慮なくご相談ください。令和5年度修了の日。本当にお世話になりました。心からお礼申し上げます。ありがとうございました。